

## 防災事例

項目	内容
テーマ	混乱期の避難所の運営を体験する
種類	①訓練 ②イベント ③備蓄 ④商品 ⑤その他
開催日時	平成25年9月8日 AM8:30～12:00
場所	蓮沼中学校
主催者	池上地区の防災を考える会
対象者	池上地区住民(約200名)
ポイント	<p>① 発災から約1週間の避難所での混乱場面をイメージ 避難所において避難者、お年寄り、障がいのある方の問題など、起こりうる混乱を参加者が体験する。</p> <p>② 違う立場で避難所を体験 参加者個々(全員)に実際とは違う立場の役割りを付与して、その違う立場で避難所を体験することで、避難所がどんなところなのか、様々な方が関わることなどを理解する。(役割例:避難者で31歳、母親とはぐれた、行政1年目職員で避難所のことを知らない など)</p>
具体的内容	<p>①訓練開始前オリエンテーション 訓練の実施方法、意味合い等を説明</p> <p>②訓練 ・避難者受け入れ ・物資受け入れ ・生活環境整備 等 (参加者各自、役割りにそって自ら考え行動する。)</p> <p>③講評 ・劣悪な環境の中、個別名簿の把握と災害関連死を防ぐために災害時要援護者への配慮が必要。 ・ペット同行避難は避けられない課題。避難所は団体生活の場であり衛生面からもペットの飼い主との室内滞在は禁止すべきである。 ・備蓄物品は訓練などを通じ多くの人を知っておくべきである。</p>
備考	講師:防災士研修センター 甘中繁雄氏、大分県社会福祉協議会 村野淳子氏